

ごあいさつ

組合員、地域の皆様方には、平素より当組合をご愛顧賜り誠にありがとうございます。

このたび、皆様方に当組合をより一層ご理解いただくために、令和5年度版「サツラクプロフィール」を発刊いたしました。今後、本冊子を通じ皆様方とのおつきあいがより深まれば幸いに存じます。

さて、令和5年度の酪農業界においては、ウクライナ問題や中東情勢をめぐる地政学リスクにより、穀物や原油価格も、一昨年のピークからは大きく値を下げたものの、円安の影響も加わって依然高止まりが続いております。これが今もなお酪農経営を大きく圧迫し、生産基盤に深刻な影響を与えていることから、昨年に引き続き期中での乳価改定が全国規模で行われ、当組合においても高止まりする酪農生産コストに対応するための様々な対策を講じるとともに、5月には生産基盤強化対策奨励金を値上げし、8月にも基本乳価を値上げいたしました。

このようななか、物価高による節約志向の高まりや牛乳・乳製品価格の値上げによる売上減少を危惧しましたが、今期決算は税引前当期利益210百万円を確保することができました。

財務の健全化に向けた取り組みについては、利益処分における内部留保と配当支出のバランスを図りながら自己資本の拡充を進め、また固定資産の取得は計画的かつ必要最小限に抑制することにより、固定比率等諸比率は順調に改善されております。今後も継続して自己資本の拡充、固定資産の計画的な取得に努めてまいります。

本年度は、中期経営計画の最終年であり、また、次年度以降の新たな中期経営計画を策定する年となりますが、酪農生産コストの高止まりや市場環境が不安定となるなか、引き続き組合員の皆様は将来も安心して酪農に取り組めるよう本指針に則り、経営支援諸対策による生産コストの低減および安定的な乳価財源の確保に向け全力で取り組んでまいります。

市乳事業においては、少子高齢化に伴う消費構造の変化や嗜好の多様化により、今後ますます戦略的な思考と行動が求められることから、中期経営計画に掲げた様々な基本戦略を実行に移し、乳価財源の安定的確保、最大化に向け更なる成長と収益基盤の強化に取り組んでまいります。

信用・共済事業においては、組合員・利用者の皆様の経営や生活に寄与する商品・サービスのご提供やご相談にワンストップでお応えできるよう、金融共済複合推進体制の充実化に努め、酪農経営支援など総合事業体としてその使命を果たしてまいります。

また、日頃の訪問活動並びに各種イベントなどの機会を通じて、准組合員の皆様からご意見をお聞きし組合運営に反映してまいります。

酪農を取り巻く環境は今後も紆余曲折の連続であり、組合運営・酪農経営の環境は流動的で厳しいものと予想されますが、あらためて組合員並びに地域利用者の皆様から必要とされる組合であり続けるために、皆様の負託に応える取り組みを展開してまいります。

令和6年4月23日

サツラク農業協同組合

代表理事組合長 山本裕康